

友愛こうら

第85号 発行：甲良町老人クラブ連合会
水と緑に恵まれた、歴史豊かな、この郷土を愛し、
たがいに友情の手で結ばれた老人クラブをめざそう

理事交流研修から

役員交流研修会に

この研修会も回を重ね、連合会の役員である理事と女性委員がリーダーとして老人クラブをよりよく創りだしてい

九月中旬から十一月下旬で、曇天で少し薄暗い天気の朝、町を囲む山際にオーロラのような霧のカーテン。山頂展望台からみると眼下に朝霧《霧海》が広がる。そして、その上をたなびく雲が太陽の光を浴びて輝く。九時半頃になると厚く立ちこめていた朝霧はだんだん薄れ、徐々に飛騨古川の町並みが眼下に現れる。こんな光景と出会える幻想的な風景の町「飛騨市古川町」を再度訪れ、市老連や単位クラブの内容も交えて、役員交流研修会を行いました。

ただく研修を、役員先進地交流研修会として実施することができました。しかし女性委員様の参加がやや少なくて残念でした。

活動事例をもとに

交流研修会の課題

★テーマにそつての

活発な話し合い・交流★

朝霧連合会役員様のお迎えを受け、立派なゆつたりした総合会館のホールで、和やかな交流が始まりました。

両町連合会長の挨拶の後、時間の都合で出席者紹介は紙面で行うこととし、朝霧連合会長や二つの単位クラブの活動概要を説明してくださいました。そして、質問等も交えながら、次のようなテーマを中心に活発な意見交換がなされました。

◆◆◆ 平成30年度

甲良町老人クラブ連合会 役員先進地交流研修会

日時 8月28日(火) 10:30~12:30 13:30~15:00(町並み探訪)

交流研修を行う老人クラブ (老人)の文言を使わずにクラブ名をつくっている)

朝霧立つ都・飛騨古川 幻想的な景色に出会う町の老人クラブ

○飛騨市古川町朝霧連合会 ○飛騨市シニアクラブ連合会
○古川町長生会和栄寿会



一、部会・委員会組織の活動・運営について

二、単位クラブと連合会との連携や活動について

三、会員の積極的な参加と会員増強について

長生会も栄寿会も、優良老人クラブの全国会長表彰を受けておられます。

両クラブの活動内容の概要は次の通りでした。

◆長生会

健康・生きがい・仲間づくりをめざして、軽スポーツの大会、わら細工を中心とする民芸品作り、子どもたちへの昔遊びの伝承活動。さらに奉仕委員会の町内清掃活動や花壇づくり、独居老人への訪問などを積極的に行っているということです。

◆栄寿会

毎月第2日曜日から6時から、自発的に集まり、公民館や公園の除草作業をしているということです。参加

数はそう多くありませんが、いつも三〇名あまりの方が自主的に参加されるということ。また、新しく「ふれあいサロン」を開設されたり、長年続く保育園児との交流会を積極的にやってもらいます。

このような活動は、朝霧連合会や市活動方針『入りたいクラブ・入ってよかったクラブ』という願いが、個々人の生きがいや地域貢献意識とつながり、活発な活動となっているのではないかと感心させられました。

私たちとも共通する願いや思いではありますが、そのための活動内容や仕組み方には少々違いもあるようにも感じました。

事例紹介や質疑応答にあわせて、甲良町側からも連合会行事や単クとの連携について田中・中西両副会長から、さらに、池寺老人クラブの活動の一部を谷口理事より説明され、意見交流が活発に続きました。

その概要は次の通りです。
○行事のあと、お食事会等を行い、コミュニケーション（飲みにケーション）を図

ることは、とても大事なことである。

○活動日については、参加しやすい日に設定するようにしているが、なかなか難しい。

○敬老会について、別枠での会計扱いで実施。

○会費についての配慮をしている。

米寿以上は、会費なし。

施設入居者等についての細やかな配慮が大事。

会費以外に、区より十

円の補助金。グラウンド

ゴルフ大会のホールイン

ワン賞抛出。

○加入年齢については、六五

歳時に役員がお願いし、加

入してもらっているが、苦

勞している。

○役が回ってくるので入会し

ないという人もいる。どこ

も同じような悩みだ。

○いろいろな行事に役員はい

つも参加しているのかと尋

ねると、単位クラブに任せ

ているが、ほとんど出てき

ていてくたさるということ。

さらに『苦情はないか』と突

っ込んだ質問もしましたが、

.....



本町理事様の積極的で取らない形で発言も続き、とても和やかな会となり、あつという間の二時間でした。続ければもつと深いところまでいけるかなあとも思います。後は実態に合わせた方策をつくりだすことを私たち自身が考えていくことが重要であると思います。

朝早い出発なのに、とても遅くなった昼食は、飛騨の郷土料理で、ゆつたり食べた後、朝霧の町の散策を行いました。今回は、連合会長・事務局長、そして、女性部長様がガイド役となつて案内してくださいました。瀬戸川沿いからしつとりした町へはいつていき、この間でも自由に町と老人クラブの話題が展開され、生き生きと励んでおられる高齢者の姿にも多く接することができた二時間の町並み探訪でした。

朝霧連合会の皆様大変お世話になりました。また、参加者の皆様お疲れさまでした。

役員様の交流研修記録には、今後の本町の老人クラブづくりに関する内容も多く寄せられていて、大変充実した



二日間であつたと感じています。そのひとつに、町内単クの情報交流会をやるうという力強い提言をしてくださることもあり、早速実現していきたいと計画しています。研修記録は、研修部が中心になってまとめていただき、後で理事並びに女性委員長様にお渡しいたしますので、各字で機会を見つけて役員会等でお聞きいただけるとありがたいです。

生活文化クラブ活動『珍しい ものづくり体験と、ちょっぴり見聞を広げる』

～そば打ち体験と紙漉き体験・紙祖神岡太神社・大瀧神社の参拝と文化財見学～

9月早々から大荒れの日本列島。どうなるのかと心配していましたが、そんな中で、天気予報をくつがえし、ぽつんと朝からよいお天気になった9月26日(水)、本年度の生活文化クラブ活動～珍しいものづくり体験～に、41名の会員様で、出かけました。

6年目を迎えた今年度は、ペアーでそば打ち、その試食がご昼食という体験と、和紙漉きでオリジナル絵はがきの制作体験です。お気に入り作品を町文化祭に出品することになりました。高齢者の仲間だけで、ゆったりと、互いに楽しみながら、ほかではできないであろうという取り組み方をしています。

◎越前蕎麦打ち体験道場でみやま長寿そばづくり体験とご試食 ～お蕎麦と相性の良い一品付きのご昼食～

◎越前和紙の紙漉き体験・4種の絵はがき作り

◎紙祖神・岡太神社・大瀧神社の参拝・鑑賞 ～日本一複雑な屋根を持つ神社～

うっすら朝日がさすこうら道の駅で全員がそろい、北陸『越前みやまの長寿そば “ごっつおさん亭” そば打ち道場』へと向かいました。玄関に横づけられたバスを降り、すぐに身支度、二人組で製作開始。できあがりの半分を昼食に、あと半分は生蕎麦でお土産にします。

そば粉こねは、水を少しずつ加え、まずはかき混ぜるといった感じで荒々しく忙しく手を動かし、徐々に手首をうまく返して捏ねてまとめていきます。簡単そうですが思うようにはいきません。スタッフに助けられながらこね終わった時には、うっすらと汗をかいていました。



そこから直径 20cm 余りの大きさの円形に長い棒を使い伸ばして形を整えます。さらに、薄く正方形に伸ばしていきます。形を整えながら薄く 2mm ほどの厚さにまで伸ばすのです。苦勞してここまで延ばし終えたら、4つ折りにし、板で抑えながらそば切り包丁で 2mm ほどの幅に切るのです。左手に持つ板にそって包丁を動かすのに苦勞しました。でもなれるに従ってそば職人になりきって包丁を扱う人も出てきました。

できあがり、厨房でゆがいてもらい、北陸のそばの食べ方の典型である冷しぶっかけそばにして、昼食となりました。あんなに真剣に切ったのに太さがいろいろありビックリ。でも、私が作ったお蕎麦です。美味しく、ゆっくりいただき、時間の過ぎるのも忘れるほどでした。



予定より少しおくれましたが、満腹のうち、日本でも珍しい『紙の神様』をお祀りする岡太神社・大瀧神社に向かいました。そんなに大きくもない神社で、拝殿と本殿がつながっている珍しい建築のお宮さんです。その屋根の流れがとても素晴らしい、有名なお宮さんです。廻廊では、いっぱい和紙の製品をきれいに並べ販売されていました。

すぐ隣の和紙の里まで、歩いても数分ですが、バスで移動。パピルス館に到着し、すぐに和紙の絵はがきの制作に取り掛かりました。高齢者とは思えないスピード感での動きで、びっくり。原料に楮を使い、ネリを使う『流し漉き』の技法で漉きます。枠の中にうまく均一になるように数回漉きます。皆さん慎重ですが手際よく用意された押し花や染料等でデザインしていかれました。お好みの柄や色をデザインしていくのですが、いっぱいいちりばめていかれたので、最後の方はなくなりました。しかし、最後の方の作品は飾りが少なくなったためか、図らずも？ 清楚で、さわやかな作品となっていたようでした。できあがり待つ 10 分余りでしたが、売店はおおにぎわいでした。



予定よりも早く仕上げることができ、皆さんこれより北陸の旅おなじみの日本海さかな街でのお買物となりました。

帰路少し雨に遭いましたが、車中では大会で唄う「里の秋」等の歌の練習や、アンケート、そしてスマイルネット行動計画の積極的な実践の声をいただき、とっても気持ちのよい体験の旅をつくりだしていただきました。また今年も、一つ甲良町老ク連の自慢話ができました。ありがとうございました。お疲れさまでした。

平成30年度 シルバー運動会&ニュースポーツ大会 お疲れさま!

荒天のため開催できなかった本大会が、3年ぶりに10月2日(火) 尼子グラウンドで開催されました。そのため、役員様でも初参加という方もおられました。スポーツの秋で、あいにく他の大会に参加される方があり、参加者は、今までにない少人数となりましたが、内容は精選され、運営はきちんと整い、参加の皆さんは和気あいあいと素晴らしい大会となりました。

教育委員会と老人クラブが綿密に協議し、会員様の主体的な参画で創り出すようにしながら、競技も運営も行うようにしていきました。

競技に時間的な余裕もでき、じゃんけんゲームも取り入れ、盛り上がりました。参加賞もきちんともらっていただきました。

午後からは、初めての試みで、ニュースポーツのスカイクロスを競技種目として、字別対抗で行いました。ソフトゴルフといわれているような競技で、グラウンドゴルフの競技要領によく似たものです。初めはやや混乱し、とまどいましたが、回を重ねていけば慣れていくことだと思います。今回の要領に幅を持たせ

て、より競技がおもしろくなるようにしていきたいと考えています。



老壮大学とニュースポーツ大会を一日で行い、内容を重点化し用務の軽減につながる取り組みとして、今後もさらに充実していくよう考えていきたいと思います。

第1回のスカイクロス字別対抗の成績は次の通りでした。

優勝 下之郷 準優勝 尼子 第3位 池寺。
おめでとうございます。

安全
運転

交通安全高齢者自転車大会



秋晴れの9月28日(金)に豊郷町体育館で行われ、甲良町老人クラブ連合会から3チームも出場しました。

高齢者の自転車の事故防止と交通安全意識の高まりをめざし、毎年、彦根・犬上地区交通安全対策協議会主催で行われる大会です。

甲良町では、役場総務課より出場を依頼され、連合



会で組織的に取り組んでいます。しかし他の市町は1~2チームで、単独の編成での出場のように。本町では、老ク連で開催趣旨を会員様に理解していただき、字でチームをつくっていただくなどをして、体育部の活動として取り組んでいます。

在士、呉竹老人クラブ等では、毎年出場していただいています。有難いことと感謝しています。選抜された選手として出場するのではなく、だれもが関心を持って交通安全意識を高めてくださることを願っての出場です。

本年度は全体で6チームというさびしい大会でした。上位入賞はできませんでしたが、皆さんとても関心を持って取り組んでくださり、会員様の交流にもなり、体育部活動としてとても有意義な取り組みとなりました。ご出場の皆様に感謝しています。ご苦労さまでした。

九月早々から過去最大という台風が連続して直撃し、北海道では大地震、またまた想定外だという惨事の連続。多くの人が大変な目にあっています。河川の決壊で、家が濁流に流され、その屋根にしがみついて救助を求める人の姿が報道されていました。もう自然災害といっていられず、なぜここまですんだと強く感じています。もつとやるべきことや、やっておかなければならないことがあるのではないかと、今の日本に警鐘を発しているようにも思えてなりません。被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。さて、今号でお知らせしている行事は、どれも今までにない成果が具体的な姿で皆様の中から生まれてきていることを強く感じています。どの事業も高齢者の行事としてうちのあつものにしています。会員の皆様は参画意識がそう思わせる動きとなつていくのだと思います。多くの会員様の参加がほしいですが、参加者でより良い行事にしたいと取り組む方こそ重要なことであると強く思わせていただいています。連合会でも字のクラブでも、これからまだまだ事業が展開されます。会員の皆様でより良いねうちと楽しみが体験できる行事にしていってくださることを楽しみにしています。(広報部)

編集後記